

プレトリア大学（南アフリカ共和国）留学報告

○派遣大学：Pretoria 大学（南アフリカ共和国・プレトリア）

○留学期間：2012年7月 ～ 2012年12月（6か月）

○在籍区分：大学院

○私の体験談

留学を終えて、南アフリカ共和国を選んで本当によかった!!と実感しています。

前年、語学力が乏しい私は、他国にて一年間の語学留学を経験していましたが、海外で何かを学び、勉強し、習得することは決して容易ではありませんでした。語学学校では、「英語を学ぶこと」が主であるのに対し、交換留学では、「英語で学ぶこと」が主となります。実は、私の専科は英語ではありません。留学前は、英語の読み書きに不安があり、特にリスニングが苦手でした。最初は、相手の話すスピードやイントネーションの違いから一度で聞き取れず、更に自分の想いを伝えることまでに至りませんでした。そんな不安がいっぱいの環境下ではありましたが、私は多くの友人に恵まれていました。一緒に出かけたり、試験勉強をしたりと生活面だけではなく、勉強面でも支えあいました。

大学では、専科の理科教育を中心に6科目を履修しました。理科教育といっても日本にはない南アフリカ独自のカリキュラム。授業では、これを知ることに加えて新しいカリキュラムを思考しました。他にも先人の知恵を学ぶものや、科学の祭典のようなイベントで審査員を務め、その視点から理科教育を見つめなおそうというユニークな講義がたくさんありました。一つひとつの講義は、難しく大変ではありましたが、そこに**楽しさ**と**やりがい**を感じました。また、南アフリカの教育の原点を学ぶために歴史を履修しました。このクラスは、課題や試験がとても多く、現地学生でさえも苦戦してしまうほどです。私自身も何度も挫けそうになりましたが、なんとか最後まで粘り単位習得をすることができました。

南アフリカ共和国は、「人類の原点」といわれ、博物館や文化遺産が数多く存在します。この国に居れば歴史に触れる機会は、多々有ります。歴史を学ぶことは、その国の教育を考える上だけでなく、自分の現存する土地やその背景を知り、未来を築く大切な役割があることに気がつきました。私は、知らぬ間に日本人にとって難関であるといわれる教科ばかりを履修していました。しかし、私は自分の興味のある教科であれば、どんなにつらくてもやり遂げることができる、そしてその学びと喜びは計り知れないものになると思っています。一般的に、「留学」＝「言語」というイメージは大きいですが、決してそんなことはありません。私は、この「南ア留学」によって「言語」より

も「生きること」の大切さを体感し、再認識することができました。大自然に恵まれたアフリカで、**価値ある留学**であったと実感しています。

全ての方々に御礼と感謝を申し上げます。私にとって本当に意義深い留学でした。
ありがとうございました。

○ある一日のスケジュール

5:00	起床
6:00~10:00	勉強
11:30~13:30	授業 (クラス)
14:00~16:00	図書館
16:30~17:30	夕食
18:00~21:00	スポーツ
23:00	就寝

○留学にかかった費用

渡航費 (往復) 178000円

生活費 (1か月あたり) 計 60000円 (単位: R ランド) (為替: 1R=約100円 (H24.12 現在))

宿舎費 (家賃)	25000円
光熱費	(家賃に込み)
食費	8000~10000円
教材費	6000円前後 (初回のみ)
その他	15000円

○先輩の声!

【留学前に関すること】

留学の動機・目的は?

教員を目指すに当たって、日本だけでなく世界に出て多くの経験をするのが大切だという想いがあったからです。

いつ頃留学を決意しましたか?

2011年 7月頃

留学する大学を決めた理由は？

英語圏かつ発展途上国という自分の条件に当てはまっていた。

留学前の語学スキルアップの方法は？

1年間の語学留学を行いました。最初は、英語は話せない、書けない、読めないという無知な状況でしたが、環境を変えて勉強することで、集中して語学力を伸ばすことができました。

留学前の履修や教育実習のことなどに関してアドバイスがあればお願いします。

できるだけ留学前に履修しておくことをお勧めします。また、教育実習の時期やフィールド研究は指導教官や教務の方と十分に相談しておく必要があります。

査証の取得はどうしましたか？

直接オフィス（東京）まで行きました。3日後くらいに査証を取得できました。郵送では時間がかかるので、直接訪れることをお勧めします。

留学時に必要とされた予防接種の種類・回数・費用はどうでしたか？

すでにあらゆる予防接種を受けていたため、特に行っていません。
(破傷風、B型肝炎、狂犬病、イエローフィーバーなど)

※破傷風の予防接種は受けておいたほうがよいです。現地でも接種可。

日本から持参するとよいと思われるものは？

常備薬、ホッチキス、虫除けスプレー、スケッチブック、ICレコーダー、お土産、浴衣など日本を紹介できるもの

その他、日本を出発する前においたらいいことに関してアドバイスがあればお願いします。

footprintのガイドブックは参考になります。

【留学中に関すること】

留学先で履修した科目とその履修方法は？ 1週間の平均授業時間数は？ 勉強についてのアドバイスがあれば一緒に記入してください。

平均授業時間数：2時間。

ほとんどの授業が、アフリカンス・英語の選択ができます。学部と大学院の授業の組み合わせはできますが、課題や中間試験がたくさんあるのでお勧めはしません。

私は理科教育を選択しましたが、英語もしくは数学教育の授業は履修しやすいとを聞きました。

コンピュータ・インターネットの使用環境はどうでしたか？

教育キャンパスには十分な数のコンピューターがあり、ネット環境も特に問題がありません。メインキャンパスには、十分な台数がないため毎日大行列でした。寮内のネット環境は非常に悪く、頻繁に停電が起り、ネット接続に問題がありました。

留学中、どのようにして現地の学生と交流を深めましたか？

積極的に話しかけることはもちろんですが、大使館で情報収集を行い、剣道のコミュニティに参加しました。また、授業でグループ課題や発表の機会があり、現地学生と勉強を通して励ましあいました。

寮・下宿など住居についてどうでしたか？

寮に限らず、どこでも学生証がないと入出できません。また正面玄関には、24時間のセキュリティ体制が整っています。最初の1ヶ月は、カードの読み取りが悪く大変でしたが、後半はスムーズに使うことができました。また、どんなにセキュリティがしっかりしていても、外出時は必ず鍵をかけなければなりません。

食生活についてアドバイスがあればお願いします。

意外かもしれませんが、ファーストフードが多いです。学食は特に油物が多いです。できる限り自炊をしたほうが健康面・節約にもよいと思います。

服装についてアドバイスがあればお願いします。

7~8月は肌寒いので防寒具が必要です。私は、毎日カイロを貼っていました。11~2月にかけては夏ですが、雨季となるので1週間のほとんどが雨です。長袖・レインコートは必需品です。また、晴れている日は日差しが強いので、日焼け止めなどの対策が必要です。

習慣の違い， マナー， 対人関係， 犯罪などのトラブルで注意すべきことは？

やはり、犯罪率が高いので気をつけなければなりません。常に「海外にいるんだ！」という気持ちで気を引き締めていなければなりません。特に人が多くなる土曜日の午後から日曜日にかけては注意しなければならないといわれています。また、学校内であれ夜間（夜 9 時以降）の 1 人での出歩きは避けなければなりません。もし、被害にあった場合は抵抗をしてはいけません。

【留学を終えて】

今後の目標， 将来の夢は何ですか？

小学校教諭になり、地域の教育に貢献をすることです。全てに感謝の気持ち、温もりのある教員になりたいです。

これから留学を希望する学生へアドバイスをお願いします！

「南アフリカ共和国」と聞いて、犯罪率の多さや貧困さから危険な国を思い浮かべる人も多いかもしれません。しかし、私は、どのような環境を創り出すのも自分の意識的な行動次第であることと思っています。もちろん、勉強して単位をとることは大切ですが、それ以上に人の価値や生きることなど人間の根底となる重要なことを学ぶことができます。このような経験は、教員を目指す上で役立つことは間違いありません。今後、留学を希望するみなさん、「留学したい！」と思ったときがチャンスです。意義深い留学になるように願っています。

